



献身的なプレーを見せた巻（中央・12番）。1得点、1アシストと申し分の無い働きをした  
（撮影・野澤 俊介）

JR東日本カップ 2003 第77回関東大学サッカーリーグ戦（後期）1部リーグ 第九節

# 駒澤大学6-0順天堂大学

## 気持ちで勝った！！

# これぞ駒大サッカー真骨頂！

**中田復帰！&後期初勝利！！**

前期開幕戦同様、後期開幕戦も引き分けてしまった駒大。前節のように下位のチームからの勝ち点取りこぼしはもう許されない。「監督に内容よりも勝負にこだわれと言われていた」（赤嶺）との言葉どおり、勝利をおさめることを第一に考えたい順大との試合は、強い雨が降りしきるなか始まった。

試合は駒大リードで展開していく。31分の得点を皮切りに駒大のゴールシヨウが幕を開ける。フリーキックのチャンスから赤嶺のゴール前で体をはったプレーで順大のオウンゴールを誘い出し先制。

続く35分、前期開幕戦以来のスタメン出場で「緊張したけどここで結果を残さなくちゃいけないんで、気合入ってました」という中嶋が見事に結果を残した。筑城のスロインを受け、豪快に右足を振りぬぎ2点目を決めた。

後半に入り、止むどころか激しくなる雨。駒大の攻撃もどまらぬ所を知らず、順大を大きく引き離していく。

後半20分、巻がセットこぼれたボールは赤嶺へ。ゴールを背に受けたボールを赤嶺はうまく体を反転させシュート。これがキーパーの横をとってネットを揺らした。後半30分には、セットプレーからの得点。橋本のコーナーキックを前線に上がっていた鈴木が頭で押し込んだ。これは空中戦に強い鈴木のリリーグ初得点だった。

33分、39分には、赤嶺に代わって入った原と巻の一年生コンビがまたも揃って得点を決めた。

フォワード陣が皆点を決めるなど攻撃の激しさもさることながら、この日はディフェンス面においても無失点とお見事。「点差が離れると集中力が切れる場面もあるけど、今日はディフェンスがよく耐えた」

（中田）。「前線から頑張ってたんでディフェンスしてくれてたんで前のほう